

令和6年度第2回旭川中央警察署協議会議事概要

1 開催日時

令和6年9月25日（水）午後2時30分から午後3時50分までの間

2 開催場所

旭川中央警察署4階道場

3 出席者

(1) 協議会委員 9人（定員11人）

会長	上西義幸
副会長	素野香織
委員	北塔光士
委員	内村充彦
委員	薄井多賀子
委員	山崎里佳
委員	福島敦矢
委員	坂上幸男
委員	小門史子

(2) 旭川中央警察署員 7人

署長	渡邊友之
副署長	伊林潤
地域官	佐々木聡
交通官	佐々木孝幸
生活安全課長	松井建人
警務課長	鷺見浩幸
事務局 1人	

4 署長挨拶

本日は、管内における事件事故の発生状況等のほか、北海道護国神社慰霊大祭、北海道音楽大行進、旭川夏まつり等の雑踏警備の結果について、ご説明させていただきます。

また、歓楽街において、地域住民、観光客等が望む安全、安心な魅力あるまちづくりを実現するための総合対策についても、ご説明させていただきます。

本日は、皆様から忌憚のない、ご意見、ご提言をいただければ幸いです。

さらに9月21日から秋の全国交通安全運動が始まっております。

特に、薄暮時間帯から夜間にかけて、歩行者や自転車の見落としや発見遅れによる交通事故の発生が懸念される場所であり、交通事故防止に十分注意していただきたいと思います。

5 会長挨拶

先週の連休、石川県能登半島では、集中豪雨、川の氾濫により多くの被害があり、大変悼ましい、悲しい出来事が起こってしまいました。

北海道も温暖化が進んでいるのか、雨の降り方が昔と変わってきています。

災害級の大雨に備えた準備と対応で行政もしっかりやっていかなければならず、住民の方の協力や警察署の皆さんともいろんな部分で連携しながら、対応していかなければならないと思います。

このあと、警察署より業務説明がありますが、委員の皆さんから、地域の安全安心のためにいろいろなご意見、ご要望を積極的にいただければと思います。

6 前回（6月26日開催）の質疑に対する警察の補足説明

(1) 旭川駅周辺で大音量を流して走行する車両の情報提供について

【委員の要望・意見】

旭川駅周辺で騒音を出す車両がい集している状況等があります。警察でどうにかできないか。また、どのタイミングで通報したらよいか。

【警察措置】

情報提供により、旭川駅周辺の検索等を実施したが、当該車両の発見、通報には至っていない。今後も地域課、交通課で警戒強化を図り、車両発見して違反状況等があれば指導取締りを実施していく。また、皆様が見かけた際には、110番通報していただきたい。

通報があれば迅速に対応する。

(2) 防災無線の活用によるタイムリーな情報提供について

【委員の要望・意見】

防災無線を活用した犯罪被害未然防止の広報をタイムリーに行ってほしい。

【警察の措置】

警察として広報してほしい内容を自治体に伝達するため、自治体に対する伝達様式を統一した。これにより、従来よりも円滑な情報伝達手段を構築した。

今後は、情報伝達手段を駆使してタイムリーな情報発信に努めていく。

7 業務説明

- (1) 管内における事件事故の発生状況とその対策
- (2) 雑踏警備（祭典、花火大会等）結果について
- (3) 歓楽街総合対策について

8 協議・質疑応答

(1) 【委員】

管内における飲酒運転の状況はどうか。

【警察】

検挙数は昨年と比べて減少している。

しかし、発覚していない飲酒運転者がいるとも考えられ、引き続きパトカーの姿を見せる活動や交通指導取締りにより、飲酒運転を根絶していく。

(2) 【委員】

先日、発生したコンビニ強盗では、ボタンを押せば通報されるシステムがあると思うが、これは機能していなかったのか。また、店員が少ない時間帯を狙っていることについて、警察からアドバイスはできないのか。

【警察】

犯人が逃走した後に店員から通報されている。

刃物を見せられた場合、恐怖心により体が動かなくなり、通報ボタンを押すことができない場合もあると思う。

店員が少ない時間帯の防犯対策については、コンビニに対する防犯指導の中で複数の店員配置をお願いしているが、人件費の問題があり厳しい状況である。

また、交番でもコンビニの実態を把握、立ち寄りなどの防犯警戒を行っている。

今後も地域の方の危機意識を高めながら、犯罪の予防と検挙に努めてまいりたい。

(3) 【委員】

人身安全関連事案が昨年より減少しているそうだが、何か理由があるのか。

【警察】

発生状況は、毎年、ある程度の振れ幅で推移しているが、本年の減少に関する明確な理由は出てこない。

しかし、通報があった場合は、今後、繰り返すことのないよう、積極的にご親族の方に介入していただくようにしており、それが結果的に減少につながったものと考えている。

我々の実感としても、過去に配偶者に対する暴力が繰り返し発生していたのに、最近、取扱いがないという声が係の方から上がってきている。

なるべく問題が発生する前に、警察が介入するようにしている。

(4) 【委員】

護国神社慰霊大祭や食べマルシェなどイベントによって警備する人数にばらつきがあるが、これらの警備計画はどのように決めるのか。

【警察】

会場の形状、参集者の年齢層、過去の取扱い事案など、様々な要素を検討しながら、限られた人員を効果的に配置している。

事前に主催者側と自主警備員の配置について協議して、配置箇所、人数を決定している。

(5) 【委員】

近々、総選挙という話もあるが、要人の方の警備というのは、警察が自主的に実施しているのか、または政党から依頼されて警備しているのか。

【警察】

総理大臣などの要人は、警察で警備しなければならないと決められている。

警備体制、警備要領等については、警護対象者の意向を考慮しながら諸般の情勢を総合的に判断して決定している。

(6) 【委員】

さんろくまつりの時、メイン通りは神輿を担ぐたくさんの人で混雑していたが、買物公園内は静かであった。しかし、そこでスケートボードをする何人かの男の子がおり、子供連れの親は危険を感じて避けて歩いていた。そういう所の見回りも必要ではないか。

【警察】

道路交通法では、交通の頻繁な道路におけるスケートボードなどの行為は禁止されております。イベントの有無に関わりなく、同公園内のパトロールや交通指導取締りを強化するほか、行政機関等に対して看板の設置など促して注意喚起を実施していく。

(7) 【委員】

YouTubeなどのSNSに真偽が不明なゴシップが多数掲載されている。

投稿した者を取り締まることはできないのか。

【警察】

名誉毀損になる場合は別であるが、名前や写真を出しただけで、即取り締まるということは妥当ではない。

(8) 【委員】

外国人労働者が増えているが、自転車の二人乗りなど交通ルールが浸透していないと思われる。雇用している企業側への対策はどうなっているのか。

【警察】

外国人労働者は年々増加傾向にある。

警察署では、事業者から交通安全や防犯対策に係る講話の依頼を受けて実施している。

技能実習生を受け入れている事業者に対して、交通安全講話の実施を促すなどを検討していきたい。

9 次回の開催予定
12月を予定